

3. グッドイヴニングの22年産

牡

父：シルバーステート

母の父：コマンズ(AUS)

2022年4月30日生(鹿毛)

栗東・大久保龍志厩舎 入厩予定

生産：(有)ビクトリーホースランチ

繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ

全400口 総額1,800万円／一口出資金45,000円／月々の維持費 1,750円／1口



シルバーステート 青鹿毛 2013年	ディーブインバクト 鹿毛 2002年	サンデーサイレンス(USA)
		ウインドインハーヘア(IRE)
グッドイヴニング 鹿毛 2011年	シルヴァースカヤ(USA) 黒鹿毛 2001年	Silver Hawk(USA)
		Boubskaia(GB)
グッドイヴニング 鹿毛 2011年	コマンズ(AUS) 黒鹿毛 1996年	デインヒル(USA)
		Cotehele House(GB)
	イブニングアフエア(GB) 鹿毛 2004年	Kingmambo(USA)
		Neptune's Bride(USA)

Hail to Reason:S5×S5

Family Line

母 グッドイヴニング

入着、本馬は第6仔
タイキラッシュ：2勝
メテオダヴリル：1勝、現役
タイキエクセロン：入着、[南関東・北海道]3勝、現役
ラピッドベル：入着、現役

祖母 イブニングアフエア(GB)

英1勝

曾祖母 Neptune's Bride(USA)

仏伊米5勝 フィユドレール賞(G3)、
ブラックヘレンH(G2)2着、バググット賞(G3)3着
シーチャリオット：[南関東]6勝 全日本2歳優駿(JPN1)2着
[孫]センチュリードリーム：英仏愛米首10勝 種牡馬、
セレブレイションマイル(G2)、ダイオメドS(G3)2回
キングオヴチェンジ：英3勝 種牡馬、
QE2世S(G1)、英2000ギニー(G1)2着

4代母 Wedding of the Sea(USA)

仏独2勝 リゾランジ賞(G3)、ゴルデネパイチェ(G2)3着、
グロシェース賞(G2)3着
シーダート：仏愛首屈4勝 種牡馬、愛インターナショナルS(G2)
[孫]デュバイエスカペイド：豪10勝

Broodmare Sire

母の父 コマンズ(AUS)

1996年生 黒鹿毛 豪州産
【競走成績】
豪：15戦4勝
ATCミサイルS(G3)、ATCザギャラクシーS(G1)2着

【母の父として】

Contentment(AUS)：香港チャンピオンズマイル(G1)
Politeness(AUS)：エンパイアローズS(G1)
デルマルーヴル：名古屋GP(JPN2)

TRAINER 大久保龍志 調教師(栗東)

1966年1月6日生 北海道出身
2003年開業 JRA通算571勝

※成績は2023年7月6日現在

【主な管理馬】

チュウワウィザード：チャンピオンズC(G1)
ダノンシャーク：マイルチャンピオンシップ(G1)
ディーブバンド：阪神大賞典(G2)

Sire

父 シルバーステート

2013年生 青鹿毛 安平産
【競走成績】
5戦4勝

【直近3年の種付頭数】

2020年165頭、2021年138頭、2022年200頭

【代表産駒】

エエヤン：ニュージーランドT(G2)
ウォーターナビレラ：ファンタジーS(G3)
セイウンハーデス：七夕賞(G3)
ショウナンバシット：若葉S(L)



©株式会社優駿

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

流麗な馬体の鹿毛馬はグッドイヴニングの22年産。シルバーステートを父に迎え、これまでの屈強な馬体の産駒傾向から、スマートな印象を受ける馬体に変わっています。とは言えさすがはグッドイヴニングの仔。グッと伸びた首差しには力強さが感じられ、胸前やトモには十分な厚みがあるので、正面や後ろから見るとボリュームのある馬体で第一印象とは違うイメージを抱かせます。歴代産駒と比較するとサイズはそこまで大きくないですが、気持ち強く大きな馬にも怯むことなく遊びを仕掛けに行く胆力を持ち合わせている点も母の仔らしい特徴ですね。性格は快活で人懐こく、放牧地では美しく伸びやかに走る姿を見せてくれています。兄弟で走りの質が一番似ているのは一つ上のソウルノットでしょうか。芝ダートどちらもこなせそうですが、距離は長くはならないと見ています。既に産駒実績がある父が本馬にどう遺伝子を伝えているのか、その答え合わせがとても楽しみです。